

令和2年度コスモス福祉会運営事業（目次）

（事業所の定員等は令和3年3月31日現在）

<障害者支援施設>

1. 「あすか」 施設入所支援 定員36名 生活介護 定員40名 短期入所 定員5名 -- (7)
日中一時支援事業（一宮市・稲沢市・江南市・岩倉市・小牧市・扶桑町・大口町・美和町・北名古屋市）

<障害福祉サービス事業所>

□日中活動事業所□

2. 「コスモス」 生活介護 定員23名 就労継続B型 定員17名 ----- (13)
3. 「かすみ草」 生活介護 定員25名 ----- (17)
4. 「パレット」 生活介護 定員20名 ----- (22)
5. 「あおぞら」 生活介護 定員15名 就労継続B型 定員15名 ----- (25)
日中一時支援事業（一宮市・岩倉市・江南市・稲沢市・大口町）
6. 「だいち」 生活介護 40名 ----- (30)
7. 「一宮市立はぎわら生活介護センター」 生活介護事業20名 ----- (34)
8. 「つぐみ」 生活介護 定員10名 就労継続B型 定員10名 ----- (37)

□グループホーム□

9. 「木立ホーム」 共同生活援助 ----- (41)
こだち：定員6名
10. 「ひだまりホーム」 共同生活援助（短期入所2名） ----- (43)
ひだまり：定員7名 第2ひだまり：定員6名
ほづみの家：定員6名
11. 「あかみホーム」 共同生活援助（短期入所定員5名） ----- (47)
あかみの家：定員5名
第2あかみの家：定員10名
第3あかみの家：定員5名

□相談支援事業所・居宅介護事業所□

12. 「相談支援センター あすか」 相談支援 ----- (50)
般相談（地域移行・地域定着）（愛知県指定）
一般相談 特定相談 障害児相談（一宮市指定）
13. 「介護支援センター ぷらす」 居宅介護 ----- (53)
居宅介護 重度訪問介護
地域生活支援事業（移動支援）公益事業（福祉有償運送事業）

<地域生活支援事業所・受託事業所>

14. 「サンライズ」 福祉ホーム 定員5名 ----- (57)
「一宮市萩原いきいきセンター」 一宮市指定管理受託 ----- (59)
15. 法人本部 事務（企画部） ----- (61)

1. はじめに

コスモス福祉会においては、昨年度からの課題であった職員不足を解消するため、年間を通して職員の定着と採用に大きな力を注いできた。その結果退職者も減少し休職者の復職と新卒者3名を加えこの1年は安定した職員の配置ができた。

施設整備においては定員増のための「だいち」増築、新たなグループホーム「第3ひだまり」の新築、「あすか」居室の個室化、陰圧室整備等国庫補助金を活用し積極的に行った。

昨年度から課題であった会計決算における経常経費の収支および人件費比率の上昇は今年度各事業所における財政改善計画が功を奏し適正な水準に戻すことができた。

また昨年末から流行している新型コロナウイルスはこの1年の間に世界的な流行となり日本においても2回にわたり緊急事態宣言が発令されることとなった。こうした中であっても福祉施設は生活に必要な施設と位置づけられ、日常的に利用者と濃厚接触をする介護の現場を抱えるコスモス福祉会は感染のリスクにさらされながら考えられる対策を全て行い各事業所においては支援の継続を行った。しかしながら今年度は事業所内において利用者2名、職員1名の陽性が判明した。法人および当該施設はそれ以上の感染拡大を防ぐためその対応に当たった。幸いにも陽性が判明した3名は重症化することもなく今は元気で過ごしています。

現在は第4波による緊急事態宣言期間中ではあるが一宮市内に於いてもワクチンの接種が急速に進みつつあり今後は接種の支援をしていくことが感染者を少なくしていくことにつながっていくと考えます。

2. 事業所の運営

今年度は前ページ表記の事業運営を行った。各事業所に於いては、円滑かつ適正な運営を図るとともに経費の節減、設備の整備、および、サービスの充実に努めた。また、各事業所の収支を改善すべく今年度は各事業所における財政改善計画を作成しこれが功を奏し事業所の収入は幅に増加した。

《年間延べ支援数》

年度	日中事業所・支援施設・グループホーム			居室・相談支援	
			前年増減		前年増減
29	給付費収入	749,590,792	-	56,445,787	-
	延利用者数	80,643	-	3,114	-
30	給付費収入	762,605,595	-13,014,803	59,408,447	2,962,660
	延利用者数	80,377	-266	3,180	66
1	給付費収入	779,509,924	16,904,329	62,755,025	3,346,578
	延利用者数	81,395	1,018	3,370	190
2	給付費収入	814,586,756	35,076,832	68,793,099	6,038,074
	延利用者数	81,705	310	3,678	308

3 新たな事業、施設・設備整備

(1) 新たな事業（内容の変更）

①主に知的障害者の人の利用を想定したグループホーム、ひだまりホーム「第2ひだまり」（定員6名）を開所し事業を開始した。

②障害福祉サービス事業所（生活介護）だいちの増築工事が完了し定員を30名から40名に増員した。

(2) 施設整備、大規模修繕等

①主に知的障害者の人の利用を想定したグループホーム、ひだまりホーム「第3ひだまり」の建設（国庫補助）を行った。（6名定員 7,805万円）

②だいち利用希望者増加に伴い施設の増築工事を行った。（5,184万円）

③新型コロナウイルス感染拡大防止のため支援施設あすかの多床室の一部を個室化する工事（国県補助）を行った。またその一室を濃厚接触者、陽性者が入院できるまでの間介護できるよう陰圧室の整備（国県補助）を行った。（1,650万円+238万円）

④あすか駐車場の一部を借地利用していた土地の購入を行った。（800万円 278㎡）

⑤コスモス隣地の土地と建物を購入した。（1,050万円 121.31㎡）

⑥通信サービス（ADSL）廃止に伴い支援施設あすか施設内の通信設備更新工事を行った。（418万円）

⑦車輛・備品等の購入および修繕等（主なもの）

各事業所において備品等の購入および経年劣化等による修繕を行った。

あおぞら	防犯カメラ 264,000円
コスモス	フォークリフト(就労)715,000円(買い換え)
あすか	消毒保管庫 580,800円(買い換え) 業務用ガスレンジ 154,000円(買い換え) 折り畳み昇降テーブル 104,500円 個別昇降テーブル 134,530円 コンプレッサー交換 528,000円
だいち	複合機 519,200円(買い換え)
かすみ草	食器洗浄機 789,800円 車いす用体重計 215,600円(買い換え) 污水管改修工事 1,870,000円(修理)自動ドア開閉装置 500,500円(修理)
ひだまり	洗濯機 184,632円 冷蔵庫 127,672円(買い換え) 冷蔵庫 106,495円 ソファ 143,000円 チェア 343,200円 テーブル 343,200円
支援センター	相談支援システム 907,500円
萩原いきいき	非常照明工事 510,400円(修理・一宮市)

4. 機関紙誌の発行

「コスモスだより」を2回発行した。多くの方々に障害者への理解を深めていただくとともに、法人への支援も訴えた。また法人内機関誌「かけはし」を全職員・利用者・家族に発行し事業所間の交流を深めることができた。今年度はコロナ感染拡大の影響を受け思うように編集会議が開けず発行が1回減った。

5. 法人主催行事（コスモス祭りの開催）

新型コロナウイルス感染者数が愛知県内で拡大基調の時期と重なり開催を中止した。

6. 法人ホームページ

コスモス福祉会の広告媒体の一つとし広く認知されつつある。都度新しい内容の更新を行い充実に努めてきた。事業内容の紹介、お知らせ、人事（職員募集）、公告等法人情報公開の有力な方法として社会的位置づけはますます増大してきている。

7. 他団体・施設との交流、協力

愛知県セルフ協、きょうされんおよび身障協の活動に職員を派遣し参加した。他の事業所と協力し情報の交換地域福祉の充実に努めてきた。コロナの影響で対面の会議はできなかったがリモートでの会議に参加、新しい会議のあり方を学んだ。

また一宮市が中核市に移行するにあたり福祉の充実に求めきそがわ福祉会、樫の木福祉会、当法人連名で市長、市議会に要望書を提出した。また市議会に向けては請願署名活動を共同で取り組んだ。（署名集約数7,052名）この件については3月市議会に提出され、請願が全会一致で採択された。

8. 一宮市自立支援協議会活動への参加

障害者総合支援法に定められる「一宮市自立支援協議会」の活動は年々充実し一宮市の障害者福祉行政に大きな影響を与えている。本会、運営会議、各部会共に事業者の立場で参加・協力をしてきた。様々な立場の人たちと福祉について意見を交流、一宮市の障害者福祉について一宮市当局と一緒に考えを深めることができた。

9. 職員数および定着・採用

今年度の退職者数は正規、非正規ともに昨年度と比べ大幅に減少しました新規職員の採用も順調に進み昨年度一昨年度の職員不足状態は解消された1年であった。

《職員入退職の状況》

(人)

	29年度	30年度	元年度	2年度	4年間合計
入 職	10+(15) (1)	15+(17) (0)	7+(13) (1)	9+(22) (3)	41+(67) (新卒5)
退 職	13+(9)	6+(10)	9+(12)	4+(8)	32+(39)
職員数増減	-3+(6)	9+(7)	-2+(1)	5+(14)	9+(28)

正規職員数（有期限職員数）(新卒)

令和3年3月31日現在 正規職員 102名 非正規職員 93名 合計 195名

《採用（正規職員）にかかる費用および採用者数》

(円)

	30年度	元年度	2年度
人材紹介	(10) 11,169,491	(3) 3,364,407	(3) 3,286,559
その他	(5) 2,224,800	(4) 1,198,800	(6) 1,312,800
計	(15) 13,394,291	(7) 4,563,207	(9) 4,599,359

10. 虐待・不正・事故防止・法令の遵守

企画部を中心に「権利擁護委員会」設置し2ヶ月に一度委員会を定期的を開催し利用者の虐待行為防止に努めてきた。結果今年度虐待発生事案はなかった。引き続き法人全体の取組として虐待撲滅に向けての努力をしていく必要がある。

また その他の労災、(交通)事故、けが(労災)、等については減少傾向にあるがさらに減少させることを目標に引き続き努力していく必要がある。

《 労災・事故発生件数》

	30年度	元年度	2年度	増減
労 災	11	8	6	-2
交通事故(含自損)	20	7	5	-2
虐待(認定)		1		

11.職員処遇の改善、福利厚生の実

(1)昇給、処遇改善

コスモス福祉会においては法人開設以来給与規程に基づき毎年度職員(正規)の給料は定期昇給を続けてきた。今年度も職員全員の昇給を行い職員の処遇改善に努めてきた結果、現状においては国の基準(処遇改善加算額)以上の改善が進んでいる。

(万円)

	処遇改善加算	特別処遇改善加算	合計
29年度	1,758		1,758
30年度	4,755		4,755
元年度	4,811		4,811
2年度	5,125	503	5,628
増減(2-元)	-314	-503	-817

(2)永年勤続表彰

コスモス福祉会で長期間にわたり勤務継続したことを称え「表彰規程」に基づき表彰、金一封の贈与および特別休暇の付与を行った。今年度11名が受賞した。

《受賞者人数》

(人)

	30年	20年	15年	10年	計
29年度			1	2	3
30年度		1	13	5	19
元年度	1		4	4	9
2年度	1		4	6	11

(3)資格取得奨励(報償)金の支給および有資格者数

資格を取得するための奨励金および取得後の報奨金支給について今年度の対象者はいなかったものの有資格支援員の比率は着実に上昇してきている。

《支給者数・有資格者数（正規支援員）》

	奨励金	報奨金	資格手当(年額)	有資格者数(割合%)
29年度	1	0	3,526,440	27(30)
30年度	1	2	4,449,333	37(52)
元年度	0	0	4,219,405	39(48)
2年度	0	1	4,107,857	38(37)

(4) 法定外労働災害保険およびソウエルクラブの加入

職員・役員を対象とした労働災害時に支給される保険の加入を継続した。今年度も労災事故が発生し労災給付金でまかなえない部分の補填を行った。また社会福祉法人福利厚生センターによる「ソウエルクラブ」加入（正規職員）を継続し職員の福利厚生に努めた。

12. 防災・防犯・災害時の備え

大規模災害に備え「停電時に利用者の命を守る」ため必要な事業所に太陽光発電による蓄電設備を整備した。また支援施設あすかにおいては非常時電源確保のため非常用発電設備の整備（国庫）を行った。

また災害時建物損壊の修繕その後の事業継続・再開に備えコスモス福祉会所有の全建物設備を対象に火災保険加入の継続をした。

13. 第三者評価

今年度評価機関による評価を受けた事業所はなかった。原則3年に一度全事業所が受けることとしサービスの質の向上に努めた。

16. 障害者雇用

27年度改正された障害者雇用促進法によりコスモス福祉会は最低2名（換算ポイント）障害者雇用が義務付けされている。昨年度までは3名（換算3.5名）の雇用ができていたが今年度はこのうち2名が退職、引き続き雇用努力をして必要がある。

17. 福祉充実計画の実施

昨年充実計画の見直しが承認され施設整備を中心とした新たな計画（5カ年）を策定した。今年度はこの計画に基づきグループホーム第3ひだまりの建設を行った。また充実残額については計画外の施設整備や土地購入を行ったため大幅な減少となった。

《充実残額の推移》

(千円)

年度(末)	28	29	30	1	2
充実残額	673,890	599,210	479,860	275,900	92,860

18. 寄付金

今年度は以下の方々から寄付をいただいた。(敬称略、主なもの) 合計 5,268,288円

5月 ユニー株式会社 77,819円 12月 愛知西農業協同組合 225,000円

2月 コスモス後援会 5,000,000円

19. 新型コロナウイルス感染症対策 PCR検査受検

昨年度末から流行が始まった新型コロナウイルス感染症についてはその拡大防止に向け法人全体で以下のことを行った。

- (1)利用者、家族、職員全員に注意喚起文書を発行
- (2)不足する感染防止衛生品（マスク、手袋、消毒薬、フェイスシールド、防護服等）の確保に努めた。
- (3)感染防止のポスターを作成した。
- (4)法人主催の行事（コスモス祭り）を中止した。
- (5)濃厚接触、陽性が判明した場合の対処方針を策定した。
- (6)緊急事態宣言期間中等、事業所間の相互利用停止等、事業所をまたぐ人の移動を制限した。
- (7)補助金を活用し感染拡大防止用品（空気清浄機、飛沫防止パネル等）を購入した。
- (8)国庫補助金を活用し支援施設あすかの多床室一部を個室化、内一室を陽性者の介護を想定し陰圧設備を整備した。

今年度はあすか職員1名、かすみ草利用者2名の陽性が判明し関係事業所への連絡調整、PCR検査の手配、施設内消毒の実施等関係事業所と協力して感染が拡大しないよう対応に当たった。

コスモス福祉会PCR検査受検者（陽性者との接触有り、事業所が具体的な対応をした事例

	受検日	結果	概要
あすか職員	12月9日	陽性	同居家族からの感染
かすみ草利用者	1月25日	陽性	同居家族からの感染
かすみ草職員	1月26日	陰性	陽性の利用者と接触
かすみ草職員	1月26日	陰性	陽性の利用者と接触
かすみ草利用者	2月1日	陽性	かすみ草陽性者からの感染
あかみ職員	2月8日	陰性	陽性者と葬儀出席
あすか職員	3月26日	陰性	同居家族が濃厚接触と判明